

第2回 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和6年4月5日（金） 午後6時00分から午後8時00分まで
開催場所	南区役所1階多目的ホール
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 八森 淳 （学識経験者・株式会社メディコラボ研究所代表取締役） 委員 平戸 善久 （南区連合町内会長連絡協議会 監事） 加藤 倫子 （永田みなみ台地区社会福祉協議会会長） 山本 裕子 （南永田山王台地区民生委員児童委員協議会会長） 深澤 幸子 （南区老人クラブ連合会副会長） 逸見 久 （地域活動ホームどんとこい・みなみ施設長） 光永 美代子 （南区主任児童委員連絡会副代表）</p> <p>【事務局】</p> <p>南区福祉保健センター担当部長 大塚 貴司 南区福祉保健課長 渡邊 誠 南区福祉保健課事業企画担当係長 森山 梨香 南区高齢・障害支援課 地域包括ケア推進担当係長 中尾 充 南区福祉保健課事業企画担当 藤崎 健太</p>
欠席者	有り（佐々木 哲夫 税理士法人TOS 佐々木会計代表理事・税理士）
開催形態	一部非公開（応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者 0人）
議題	<p>1 開会</p> <p>2 事前確認事項</p> <p>(1) 委員会の公開・非公開について（確認） (2) 面接審査の進め方について (3) 質問項目の確認について (4) 応募団体の資格要件（事務局より）</p> <p>3 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査 施設：横浜市別所地域ケアプラザ</p> <p>(1) 応募団体「社会福祉法人横浜太陽会」から、団体の概要、事業計画等について説明 (2) 事務局より前期実績報告書について説明 (3) 選定委員から応募団体への質疑</p> <p>4 指定管理者候補者の選定（各委員による採点）</p> <p>5 閉会</p>
決定事項	指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）として、次のとおり、横浜市南

	<p>区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市別所地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜大陽会 次点候補者：次点候補者：無し</p>
議 事	<p>1 開会 出席者自己紹介</p> <p>2 事前確認事項</p> <p><u>(1) 委員会の公開・非公開について（確認）</u> 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。（第1回委員会で審議済み） ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。</p> <p><u>(2) 面接審査の進め方について</u> （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみ応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ・最低制限基準は、評価項目7を除く評価基準項目の合計点（満点285点）に出席委員数から2人除いた委員数を乗じて算出した点数の60%とする。 ・得点については、各委員が評価基準項目に基づいて採点し、最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除く残りの委員の採点を合計した点数とする。 <p><u>(3) 質問項目の確認について</u> （委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 <p><u>(4) 応募団体の資格要件（事務局より）</u> （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ・欠格事由に該当しないことを報告。

3 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査

(1) 応募団体「社会福祉法人横浜太陽会」から、団体の概要、事業計画等について説明

(団体作成資料によりプレゼンテーション)

(2) 事務局より前期実績報告書について説明

事務局より前期実績報告書について説明。

(3) 選定委員から応募団体への質疑

ア 主な質疑応答

(委員) プレゼンテーションの中で、地域課題において今後高齢化が進むことにより、自分でSOSが出せない人に対しても対応していく必要があるとあったが、具体的にどのような対応を考えられているか。

(団体) 地域の中でお困りごとがありそうな方や心配な方は、周囲の方から地域ケアプラザに繋いでいただくよう、連合単位の会議だけでなく、単位自治会町内会にも地域ケアプラザがお邪魔させていただき、もっと広く地域ケアプラザを広報することで、早期発見に繋がっていきたいと考えている。

(委員) 高齢者の方でも相談に行きやすい・相談しやすい地域ケアプラザにするための工夫はあるか。

(団体) 当法人に指定管理者を任せていただいた場合、横浜市別所地域ケアプラザから少し離れた大岡地区内に、特別養護老人ホーム白朋苑があり、白朋苑で「出張相談」という形で、住民にとって身近な場所で相談に対応できる体制を整えるよう考えている。

(委員) 職員配置の取組について、主に地域包括支援センター専門職の人員確保の工夫はあるか。

(団体) 当法人には広報専門の職員がいるので、あらゆる広報手段を使って人員確保にあたっていきたいと考えている。

(委員) 災害に対する対応について。地域住民とともに災害対策に取り組むとあったが、どのようなことを行っていくのか。

(団体) 能登半島地震では役所が十分に機能しなかったことが課題として挙がっている。当法人だけでなく、地域の方とともに取り組まなければならないので、地域も巻き込んで福祉避難所設置訓練を行うなどを考えている。

(委員) プレゼンテーションをお聞きしたうえで、とてもよくやってくれそうだと思った。その分、職員は大変だと思う。時間外労働や職員の働きやすさを確保するためにどのように対応していくか。

(団体) 職員の数や時間には限りがあるが、やりたいことを挙げたらキリがないとも考えている。常に職員同士でコミュニケーションをとり、住民にとって必要なことをしっかりとやりつつ、一方で、場合によって「やらない」という決断を下すことで、バランスを取っていければと考えている。

4 指定管理者候補者の選定（各委員による採点）

応募者から提出された応募書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市別所地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜太陽会	1,288／1,500点	1,273／855点
次点候補者	なし	-	-

（審査講評）

- ・ 応募団体は現在の指定管理業務の中で、地域の会議にも所長自らが出席する等、積極的に地域に向けたアプローチを行い、顔の見える関係づくり・地域情報の共有・地域ケアプラザに関する情報の発信等を行っている。こうした地域に密着した支援の結果、様々な活動団体等の相互交流が活性化し、また福祉保健に関する相談がしやすくなったと感じる。
- ・ 応募団体はこれまで、幅広い年代層の住民ニーズを受けて、職員が積極的・迅速に地域資源も活用し、必要なサービス、取組を創出している。職員研修に力を入れ、人材育成を積極的に行った成果が出ており、住民へのサービス向上につながっていると見える。
- ・ 応募団体の、現在の指定管理業務における広報内容も工夫に富んでおり、また多様な媒体を用いて積極的に情報を地域に発信している。こうした点においても、地域の身近な福祉保健の拠点として存在感を発揮していると言える。

得点が最低制限基準の60%以上のため、委員会として指定管理者の候補者に、社会福祉法人横浜太陽会を選定することを決定。

5 閉会

1 資料

- 資料1 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員・事務局名簿
- 資料2 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱
- 資料3 横浜市南区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱
- 資料4 審査方法について
- 資料5 応募団体の財務状況に係る税理士からの意見書

2 特記事項

特に無し

資 料
特 記 事 項